

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
63-2	海部灘	牟岐漁港海岸	楠ノ浦地区	農水（水産）	牟岐町	395	⑥海部灘ゾーン	防護重視

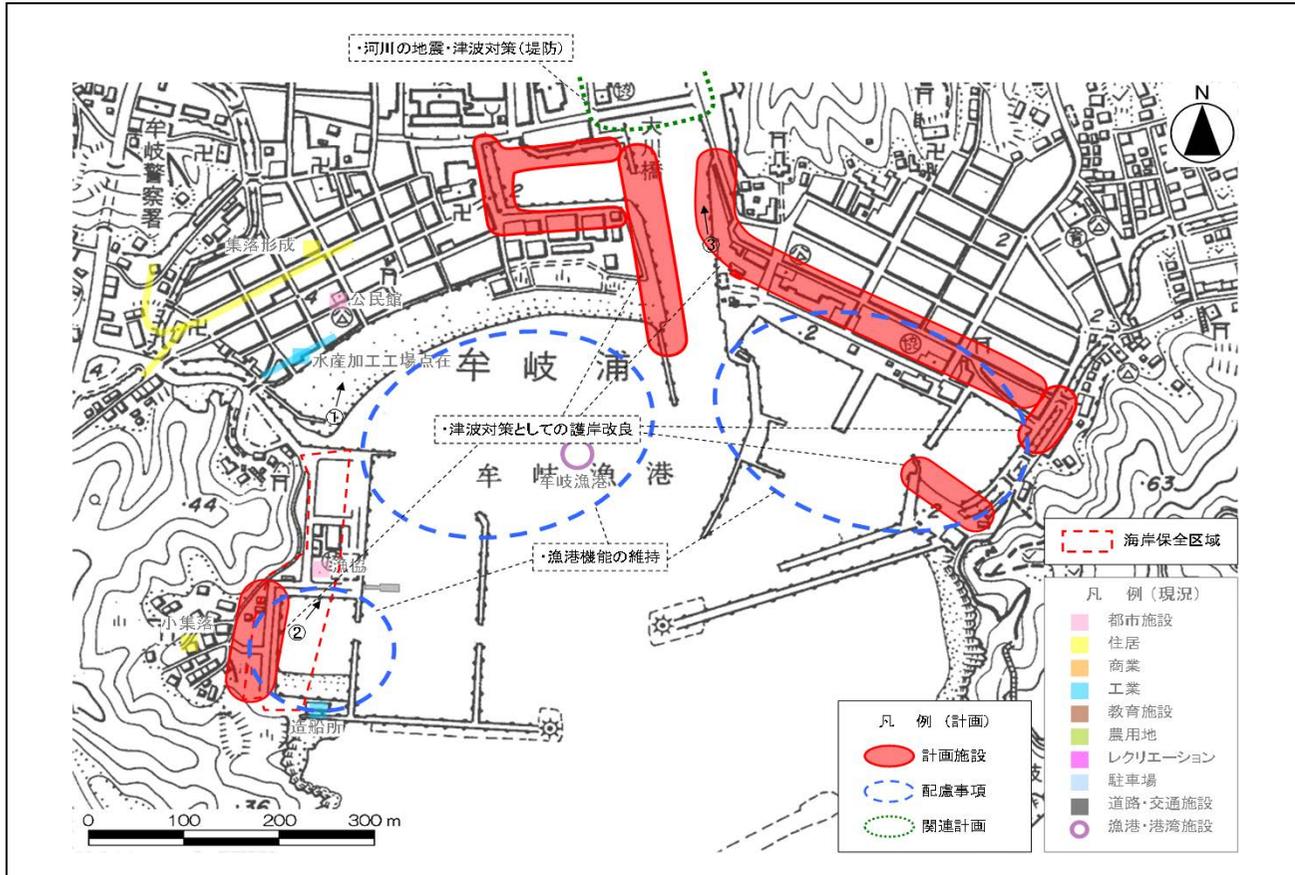
①護岸状況



②海岸状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。港湾機能に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	特質的な配慮事項はなく、現況の自然環境の維持に努める。また、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	-
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	殆どが漁港として利用されている。野積場がある。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	維持	海岸の状況	護岸		
自然関係法令	-				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	●		
海域環境	藻場	干潟	サンゴ		
配慮すべき資源	-				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	500m以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	良好				
海岸利用状況	漁港				
地域からの要請	-				

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。		
受益規模	約40ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	漁港機能の維持		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
63-3	海部灘	牟岐漁港海岸	大戸地区	農水（水産）	牟岐町	170	⑥海部灘ゾーン	環境調和

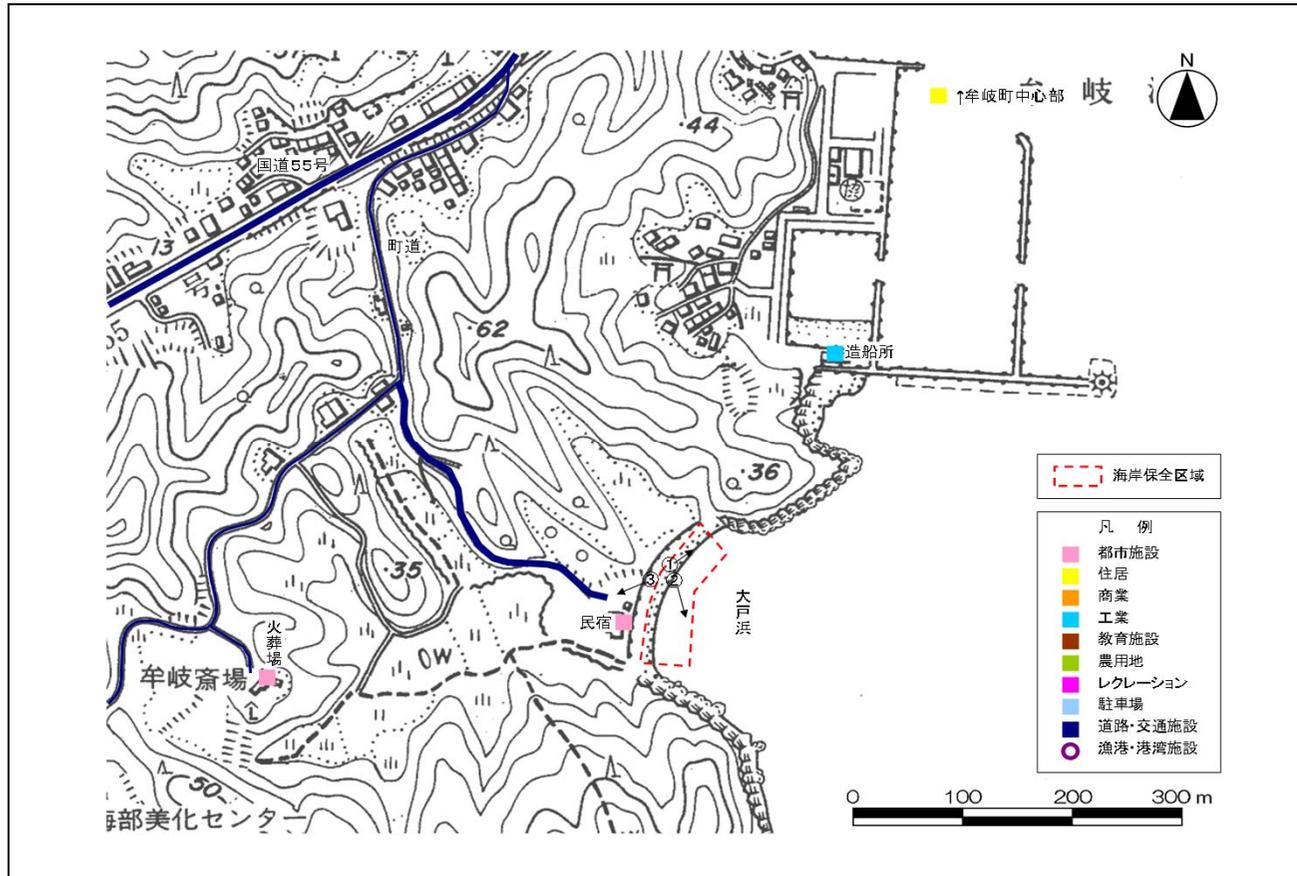
①海岸状況



②護岸状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、藻場の保全、漁港等の現状利用に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊びや漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	—
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	背後の殆どは雑木林であり、民宿が1戸ある。護岸前面の根固めは砂利の堆積により埋没している。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・ブロック・護岸		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第3種）				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●		
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	車でのアクセス困難				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	水遊び・漁港				
地域からの要請	観光レクリエーション拠点、漁港整備				

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
64	海部灘	馬地先海岸	—	国土(水管理)	牟岐町	550	⑥海部灘ゾーン	環境重視

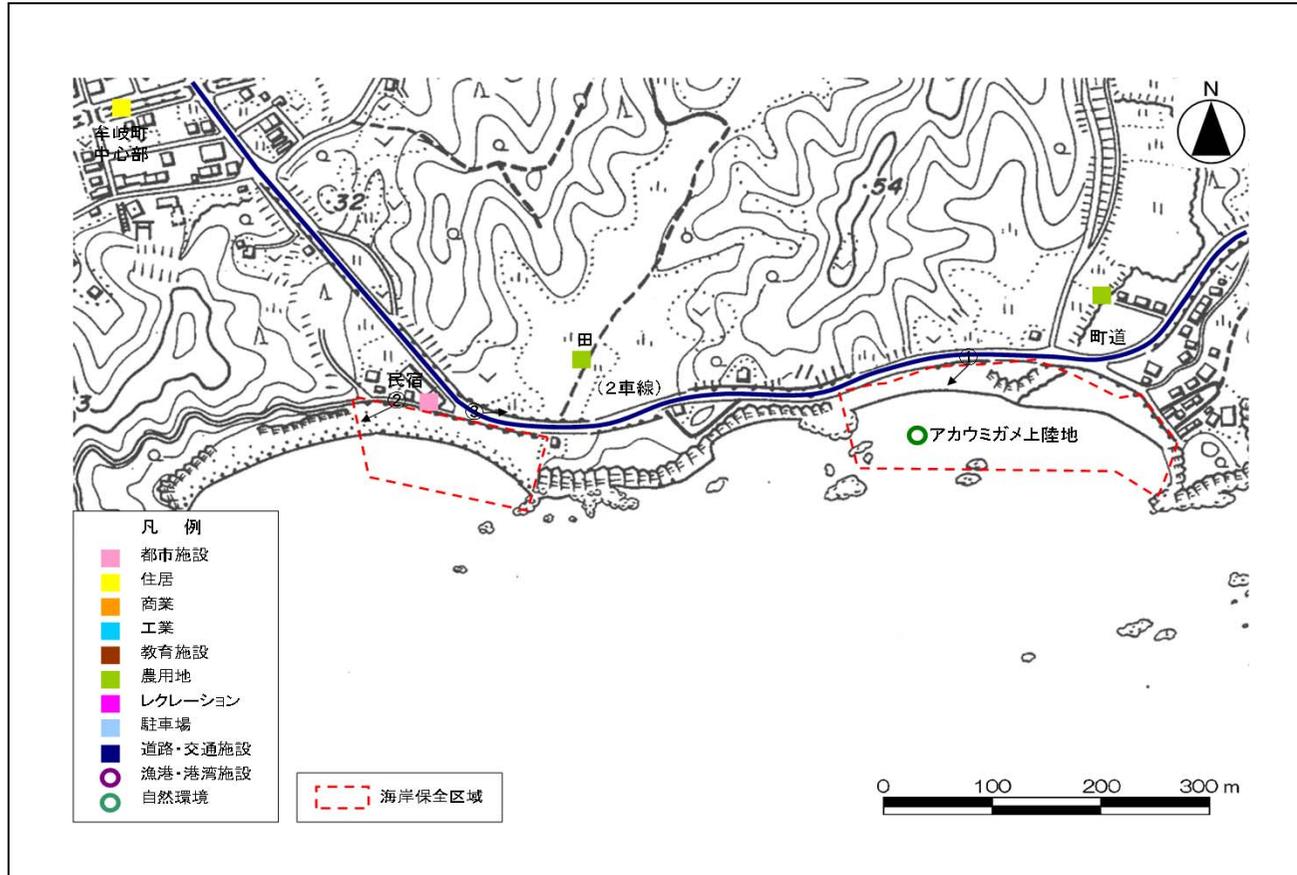
①海岸状況



②海岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、貴重な環境（アカウミガメの産卵地等）を有していることから、特に海岸環境の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。また、アカウミガメの生息が確認されており、その生育環境の保全に努める。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	背後は町村道古牟岐線であり、護岸が整備されており、他は自然海岸である。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	保全	海岸の状況	砂浜		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	● 干潟	—	サンゴ	
配慮すべき資源	自然関係法令、貴重種（アカウミガメ：EN）、藻場、ウミガメの上陸産卵への配慮（砂浜の保全）				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以内		
アクセス道路	2車線				
海岸へのアプローチ	良好				
海岸利用状況	水遊び				
地域からの要請	観光・レクリエーション拠点、漁港の整備が望まれる。				

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
65	海部灘	出羽島漁港海岸	—	農水（水産）	牟岐町	320	⑥海部灘ゾーン	環境調和

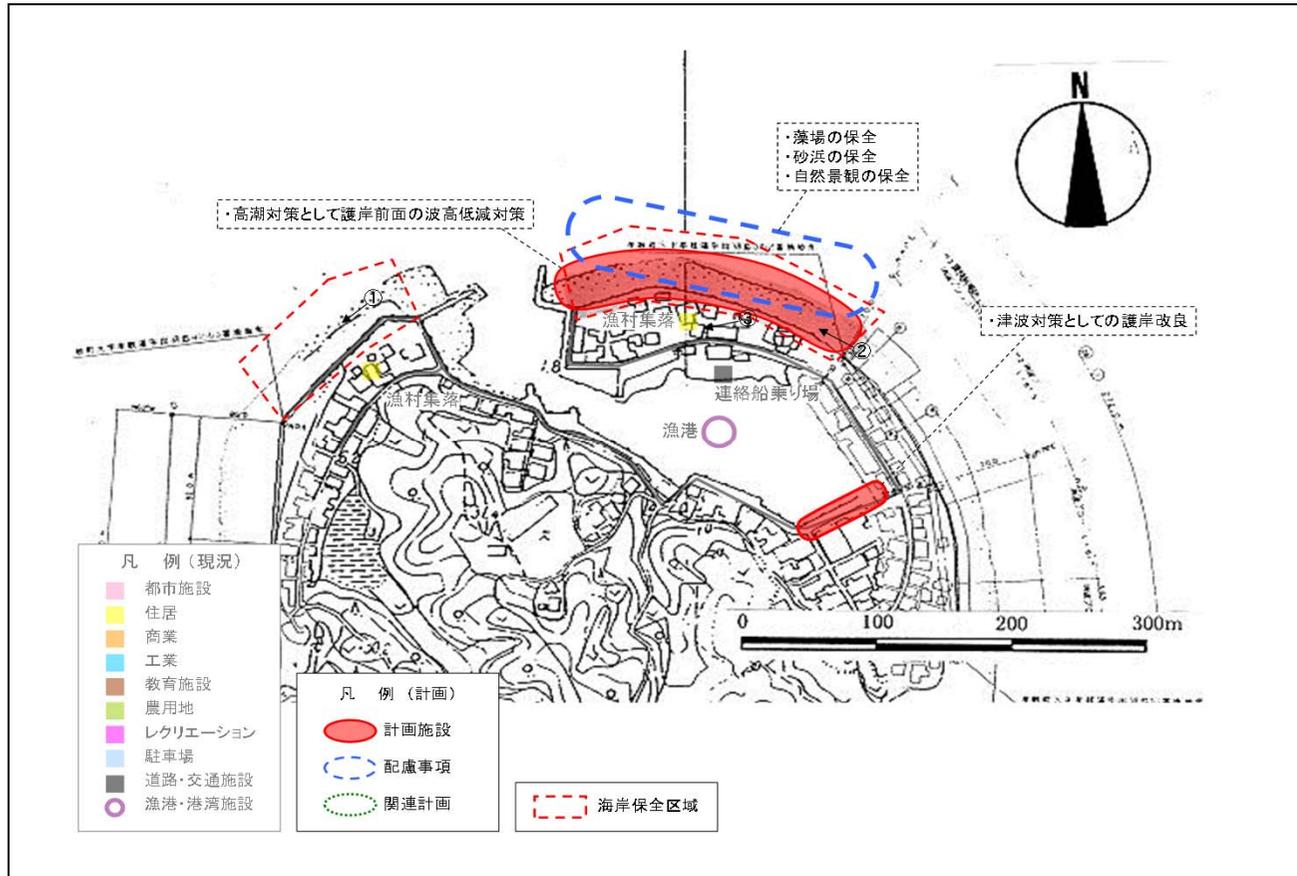
①護岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。藻場・砂浜の保全や親水空間の保全に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	A	侵食対策ランク	—
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	背後の漁村集落を防護する護岸・堤防で、前面は礫浜である。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・礫浜・ブロック・突堤・護岸		
自然関係法令	国定公園（海上：普通）				
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●		
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	離島		
アクセス道路	車でのアクセス困難				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	水遊び				
地域からの要請	高潮、波浪対策				

計画概要		
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等を行う。高潮対策として護岸前面の波高低減対策を図る。	
受益規模	約1ha	導入事業
配慮事項	藻場の保全、砂浜の保全、自然景観の保全	

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
66A	海部灘	出羽島地先海岸	—	国土（水管理）	牟岐町	(492)	⑥海部灘ゾーン	環境調和

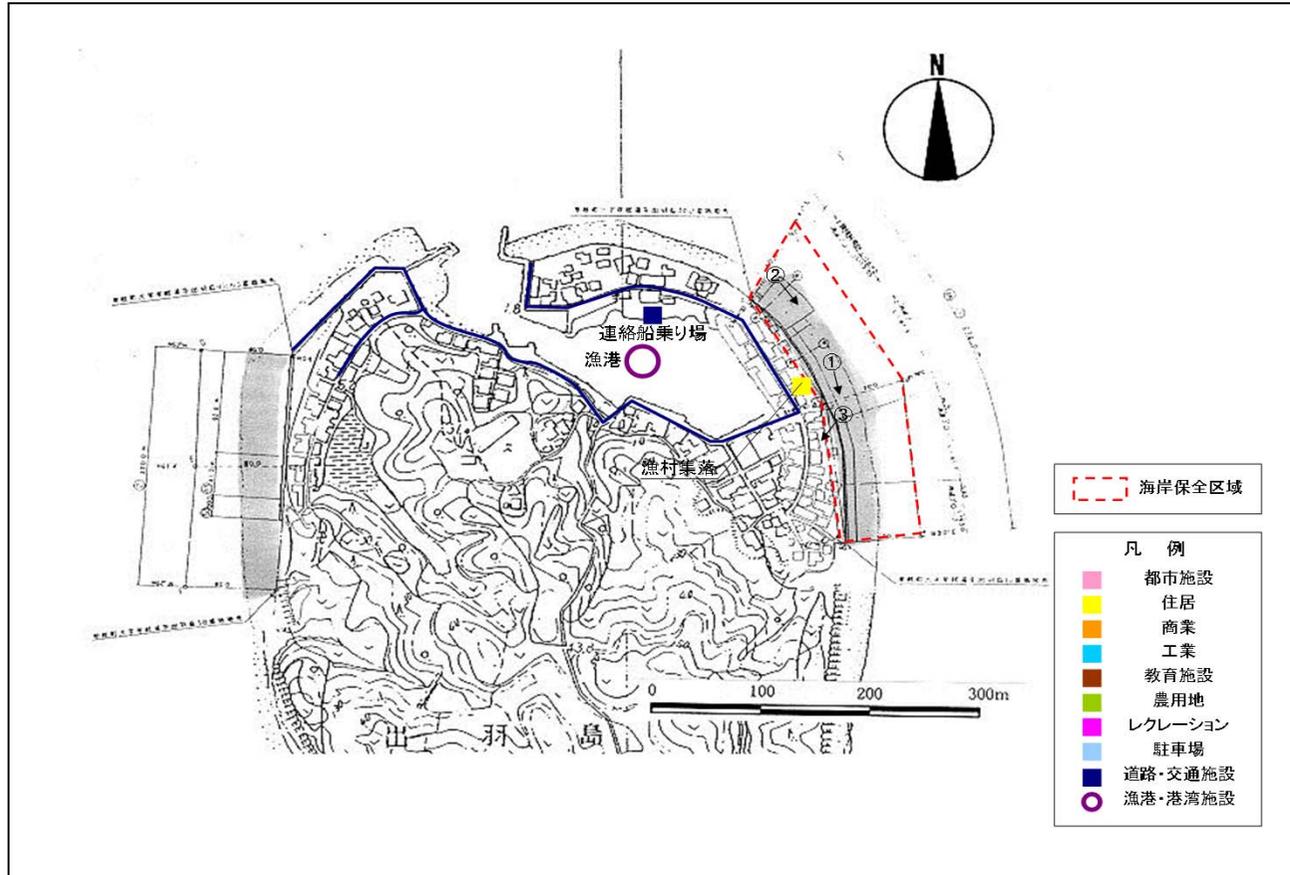
①護岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での問題はないが、海岸景観や藻場の保全、親水空間の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	C	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	背後の漁村集落を防護する護岸・堤防で、前面は礫浜である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	礫浜・護岸			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以上			
アクセス道路	車でのアクセス困難					
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり					
海岸利用状況	水遊び					
地域からの要請	観光・レクリエーション拠点、漁港の整備が望まれている。					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
66B	海部灘	出羽島地先海岸	—	国土（水管理）	牟岐町	(492)	⑥海部灘ゾーン	環境調和

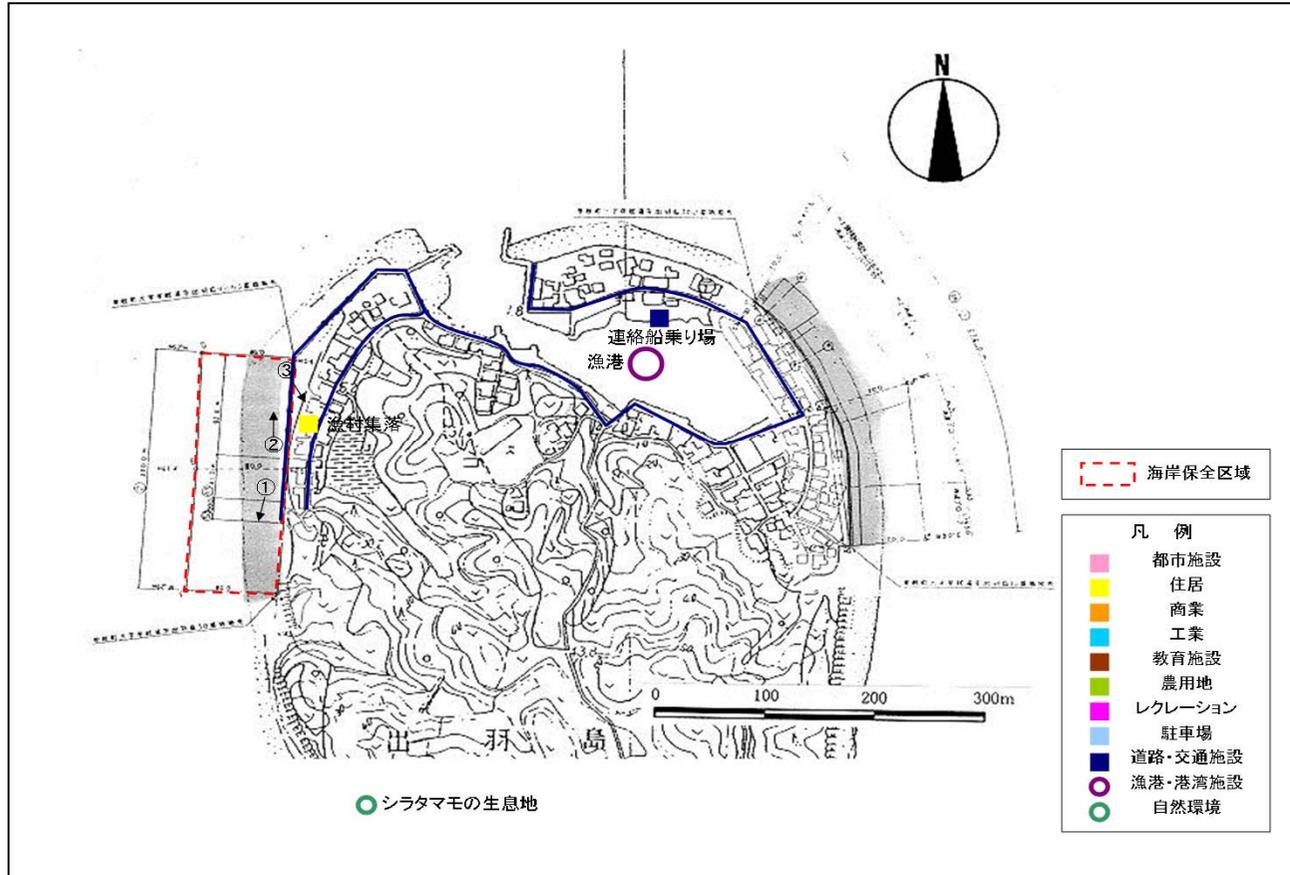
①海岸状況



②海岸状況



③海岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全、親水空間の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	背後の漁村集落を防護する護岸・堤防で、前面は礫浜である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	礫浜・護岸			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以上			
アクセス道路	車でのアクセス困難					
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり					
海岸利用状況	水遊び					
地域からの要請	観光・レクリエーション拠点、漁港の整備が望まれている。					

計画概要	
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
67A	海部灘	内妻地区海岸	—	国土（水管理）	牟岐町	(1395)	⑥海部灘ゾーン	環境調和

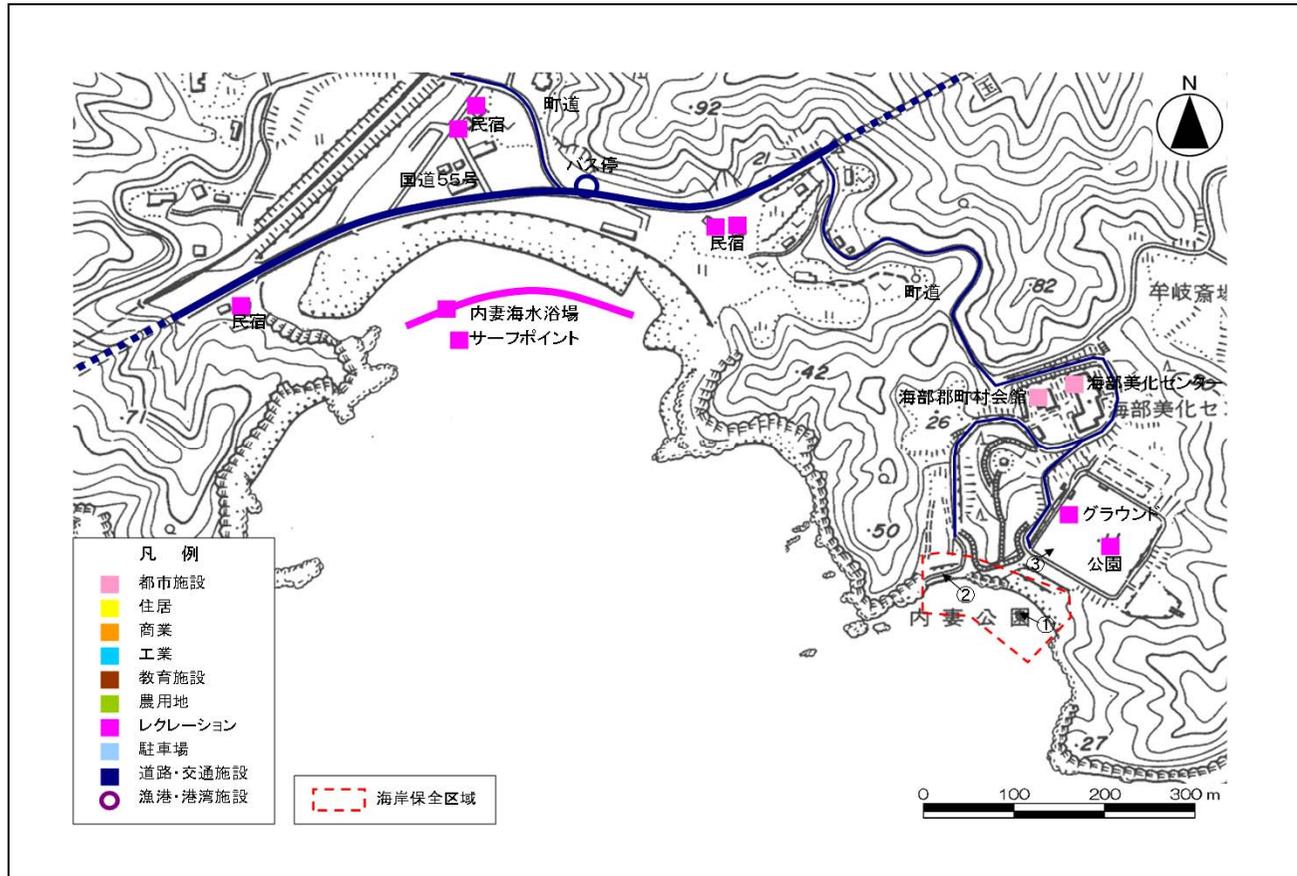
①護岸状況



②護岸状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要性を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全、親水空間の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	一部風化・劣化が見られる。					
海岸保全区域の概況	大ヒント地区の背後はグラウンド及び公園であり、高潮対策で護岸が整備されている。小ヒント地区の背後は塩田である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	磯浜			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種、第3種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、貴重種（ウミガメ産卵（現地確認情報））、藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	2km以内			
アクセス道路	1車線					
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり					
海岸利用状況	水遊び					
地域からの要請	ほ場、観光・レクリエーション拠点の整備が望まれる。					

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
67B	海部灘	内妻地区海岸	—	国土（水管理）	牟岐町	(1395)	⑥海部灘ゾーン	利用促進

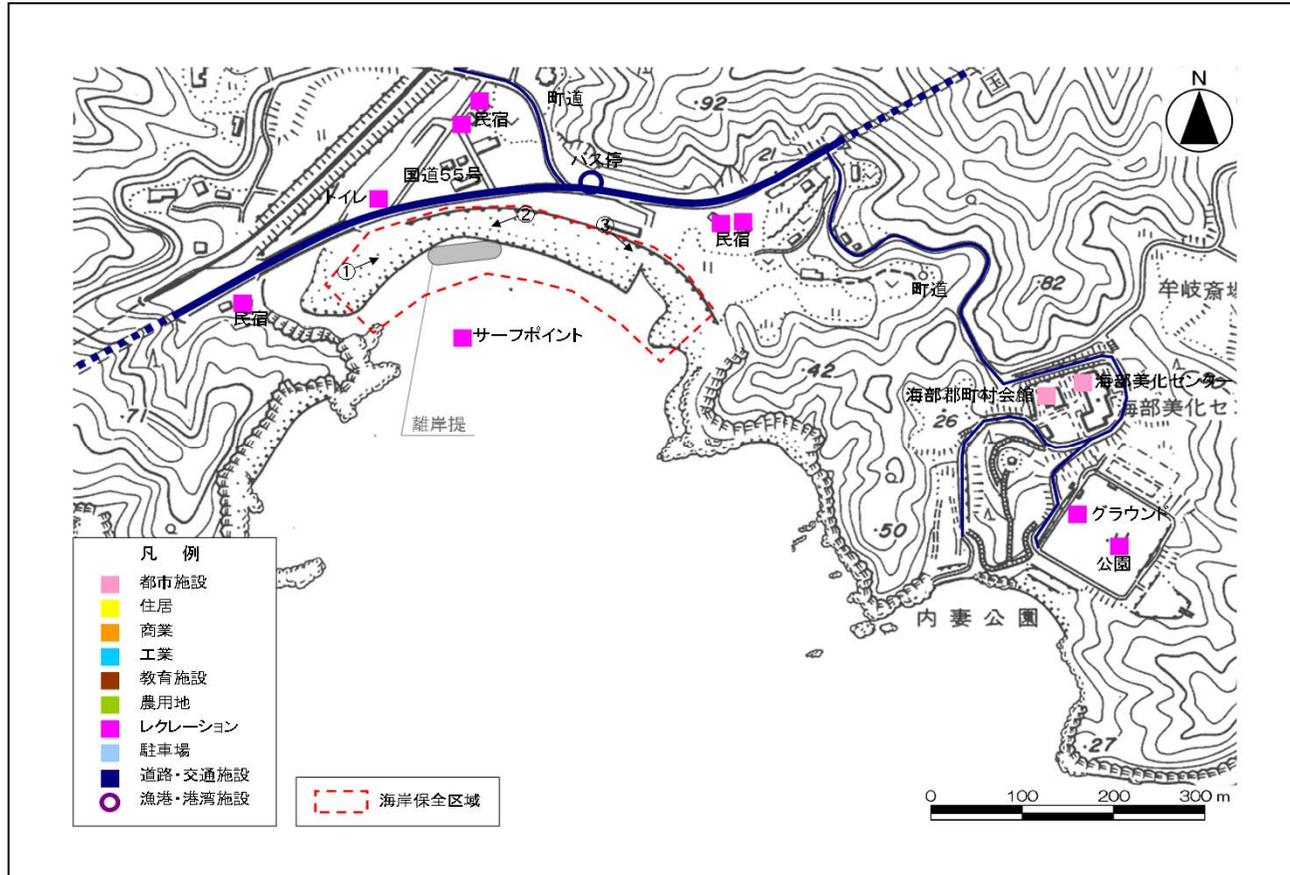
①海岸状況



②護岸状況



③海岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要性を考慮して、当面、海岸利用を促進するための施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	サーフィン等の海岸利用が盛んであり、現状利用の促進に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	C	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防・離岸堤・海水浴場			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	内妻地区は海水浴場であり、海岸は砂浜である。海岸侵食が見られ、対策として一部区間に離岸堤を整備している。背後には民宿や人家が少しある。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種、第3種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、ウミガメ（現地確認情報）、ウミガメの上陸産卵への配慮（砂浜の保全）					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	2車線					
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり					
海岸利用状況	海水浴可・サーフィン					
地域からの要請	ほ場、観光・レクリエーション拠点の整備が望まれる。					

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	— 導入事業 —
配慮事項	—

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
67C	海部灘	内妻地区海岸	—	国土（水管理）	牟岐町	(1395)	⑥海部灘ゾーン	環境調和

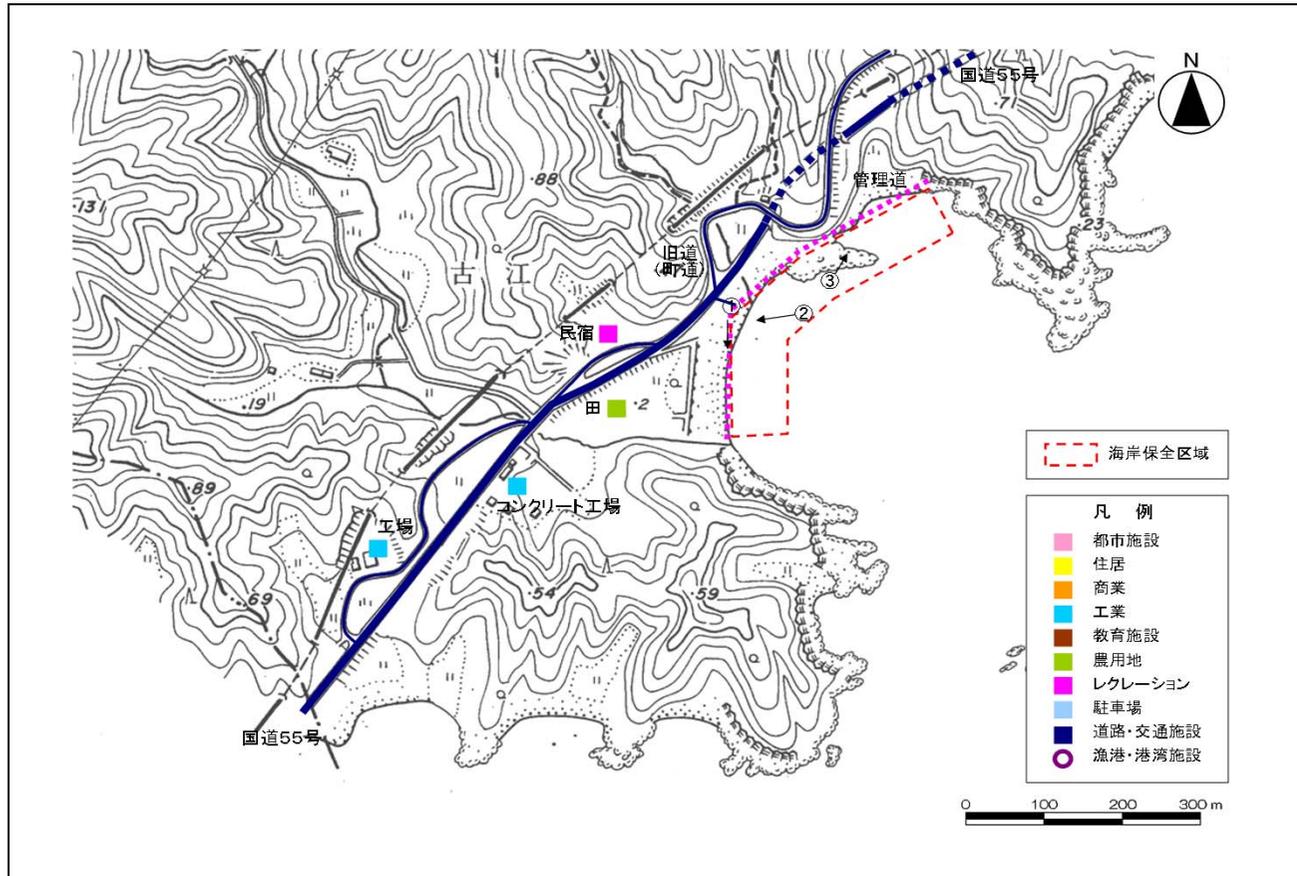
①護岸状況



②背後地状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要性を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全、親水空間の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防・砂浜			
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。					
海岸保全区域の概況	古江地区は護岸が整備されているが、背後は雑木林である。護岸前面も草木で覆われているが、護岸の洗掘・劣化は見られない。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	隣浜			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	●			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、ウミガメ（現地確認情報）、ウミガメの上陸産卵への配慮（砂浜の保全）					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	2車線					
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり					
海岸利用状況	水遊び					
地域からの要請	ほ場、観光・レクリエーション拠点の整備が望まれる。					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
67D	海部灘	内妻地区海岸	—	国土（水管理）	牟岐町	(1395)	⑥海部灘ゾーン	環境調和

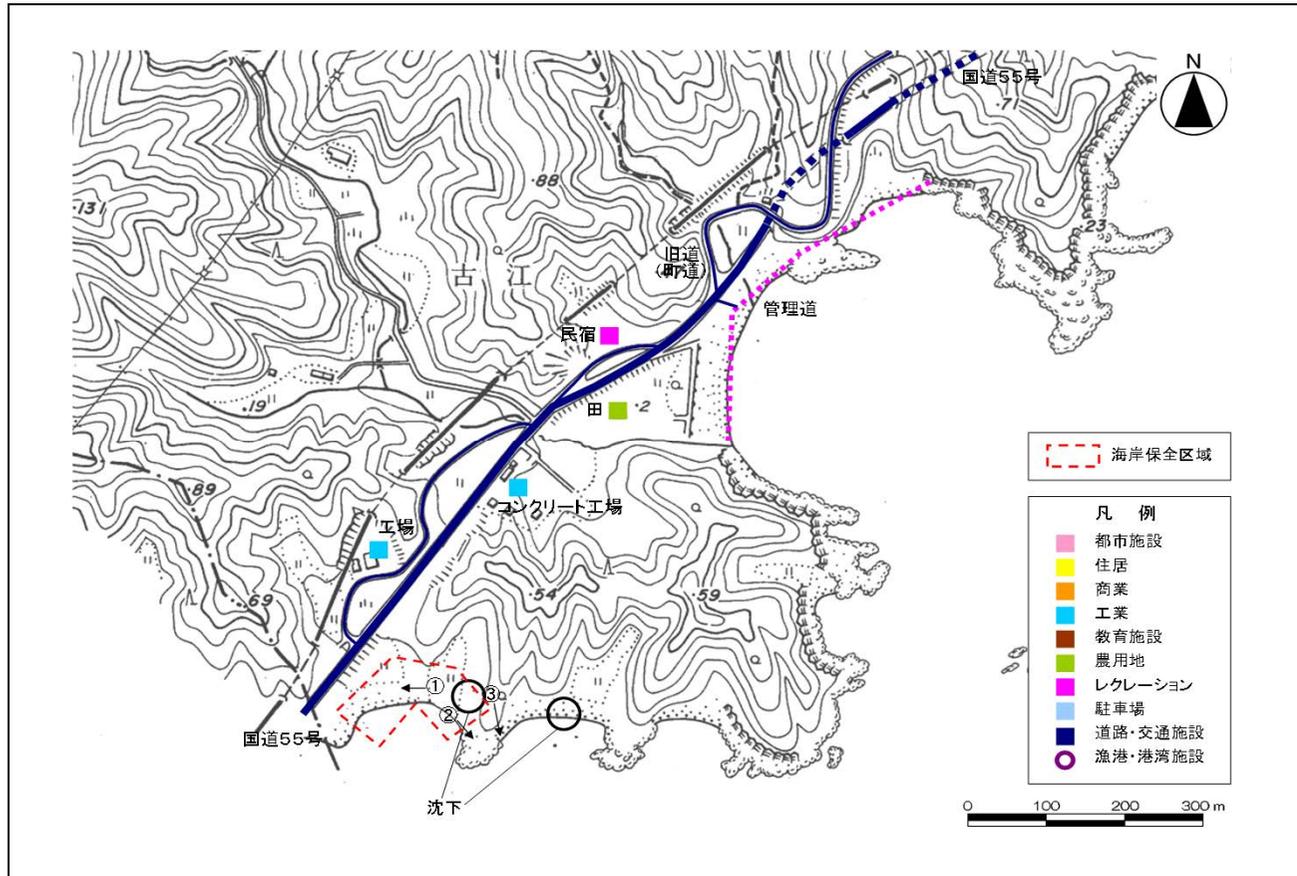
①海岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸景観や藻場の保全、親水空間の保全に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	B	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	—	
背後地ランク	D	既存保全施設	護岸・堤防・緩傾斜護岸・消波工			
施設の健全度	若干の劣化・風化・吸出しが見られる。					
海岸保全区域の概況	一部区間は消波ブロック緩傾斜護岸で、残りは重力式護岸である。消波ブロック緩傾斜護岸は波浪による吸出・不陸が見られ、護岸は石積で老朽化しているが、背後は荒地で緊急性は要さない。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	隣浜			
自然関係法令	国定公園（海上：普通）、国定公園（陸上：第2種）					
水質環境基準（類型）	A	海岸漂着物対策重点区域	—			
海域環境	藻場	●	干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	2車線					
海岸へのアプローチ	改良の必要性あり					
海岸利用状況	水遊び					
地域からの要請	—					

計画概要			
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。		
受益規模	—	導入事業	—
配慮事項	—		



No.	海岸名			所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
68-2	海部灘	浅川港海岸	大砂地区	国土(港湾)	海陽町	1332	⑥海部灘ゾーン	利用促進

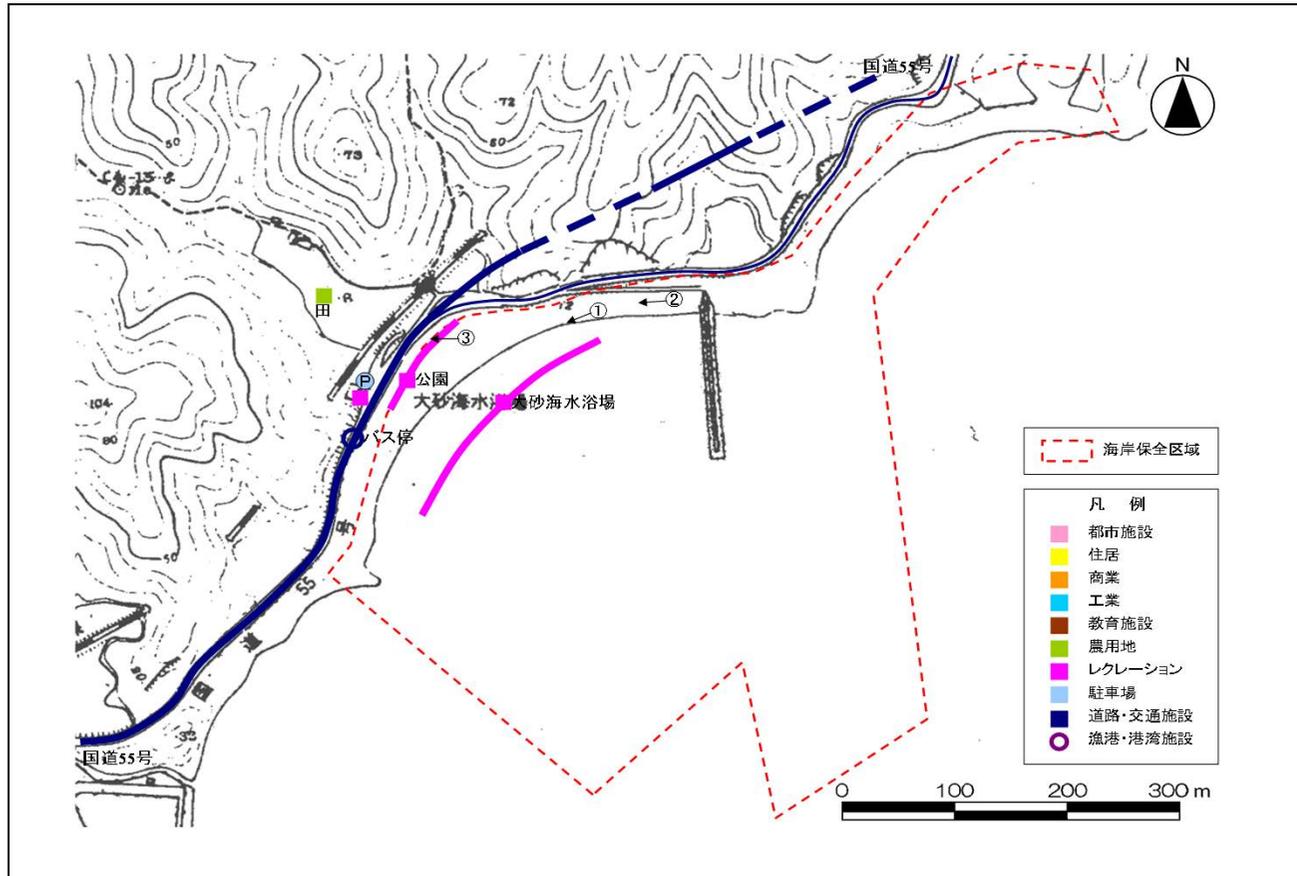
①海岸状況



②背後地状況



③背後地状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での問題はないが、海岸環境の保全や海岸利用の促進に配慮しつつ、施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場、海水浴等のレクリエーション場としての砂浜の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。
利用面	海水浴等の海岸利用が盛んであり、現状利用の促進に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	C	高潮対策ランク	C	侵食対策ランク	-
背後地ランク	B	既存保全施設	緩傾斜護岸・海水浴場		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	大砂海水浴場となっている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜		
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-		
海域環境	藻場	● 干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	自然関係法令、藻場、砂浜、ウミガメ(現地確認情報)、ウミガメの上陸産卵への配慮(砂浜の保全)				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	促進	幹線道路からの距離	隣接		
アクセス道路	2車線				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	海水浴場				
地域からの要請	-				

計画概要	
計画概要	定期点検を実施し、維持管理を行う。
受益規模	- 導入事業 -
配慮事項	-

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
68-3	海部灘	浅川港海岸	加島地区	国土(港湾)	海陽町	—	⑥海部灘ゾーン	環境調和

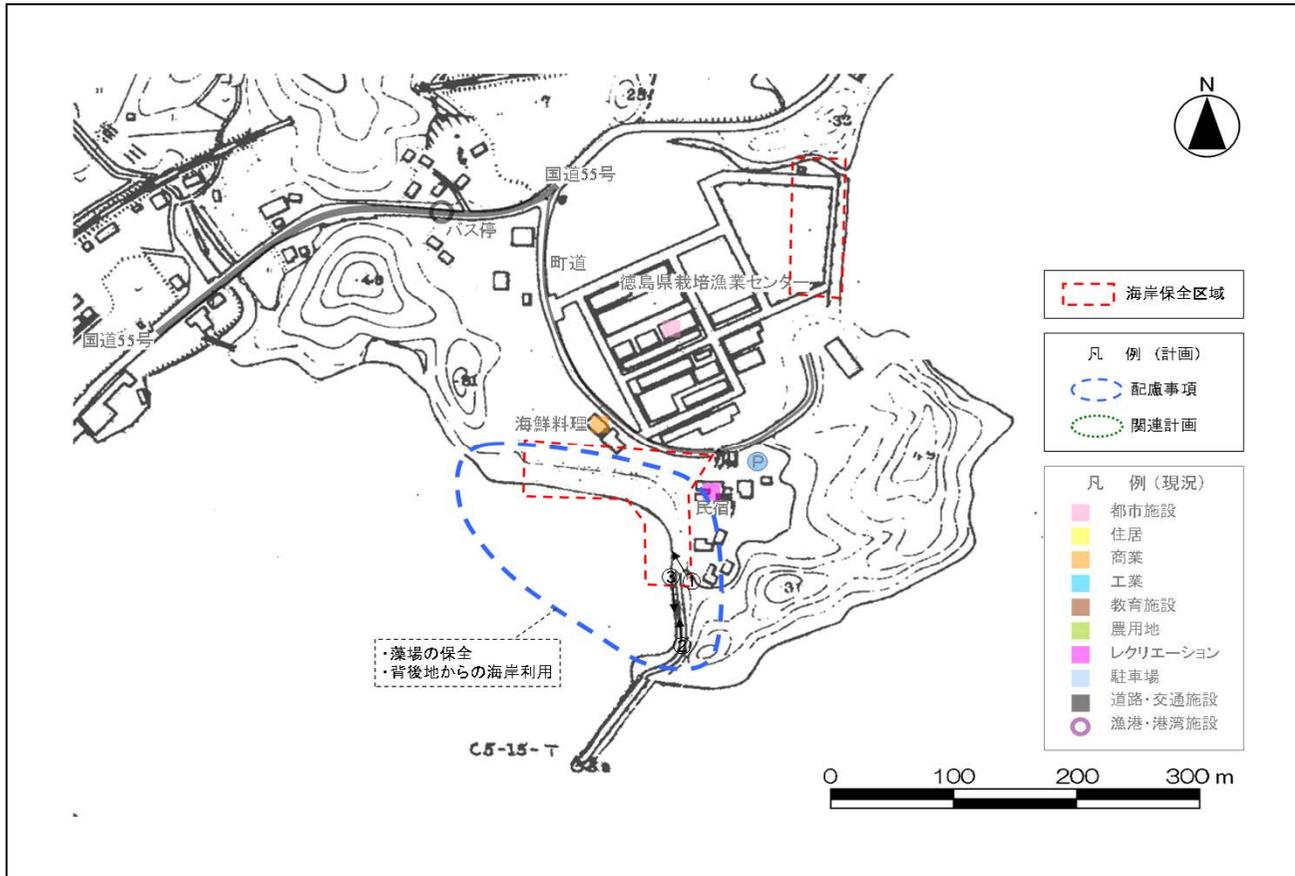
①海岸状況



②海岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	背後地の重要度を考慮して、当面、海岸環境や藻場の保全、親水空間の保全に配慮した施設の維持管理に努める。
防護面	当面、現施設の維持管理に努める。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。また、学術上重要とされる生物(7カ)の生息が確認されており、その生息環境の保全に努める。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	—
背後地ランク	C	既存保全施設	護岸・堤防、消波工		
施設の健全度	施設の健全度は特に問題ない。				
海岸保全区域の概況	湾奥の静穏な区域であり、前面には砂浜が広がっている。天端高はやや低い港湾であり波浪の影響は少ないと考えられる。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・ブロック・護岸		
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	—		
海域環境	藻場	● 干潟	—	サンゴ	—
配慮すべき資源	自然関係法令、加島の中生代底痕群(県)、貴重種(7カ:EN(魚類、移動あり))、藻場				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	500m以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり				
海岸利用状況	水遊び				
地域からの要請	—				

計画概要		
計画概要	長期的に事業に着手する。当面、定期点検を実施し、維持管理を行う。	
受益規模	—	導入事業
配慮事項	藻場の保全、背後地からの海岸利用	

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ		
68-4	海部灘	浅川港海岸	粟ノ浦地区	国土(港湾)	海陽町	1221	⑥海部灘ゾーン	環境調和

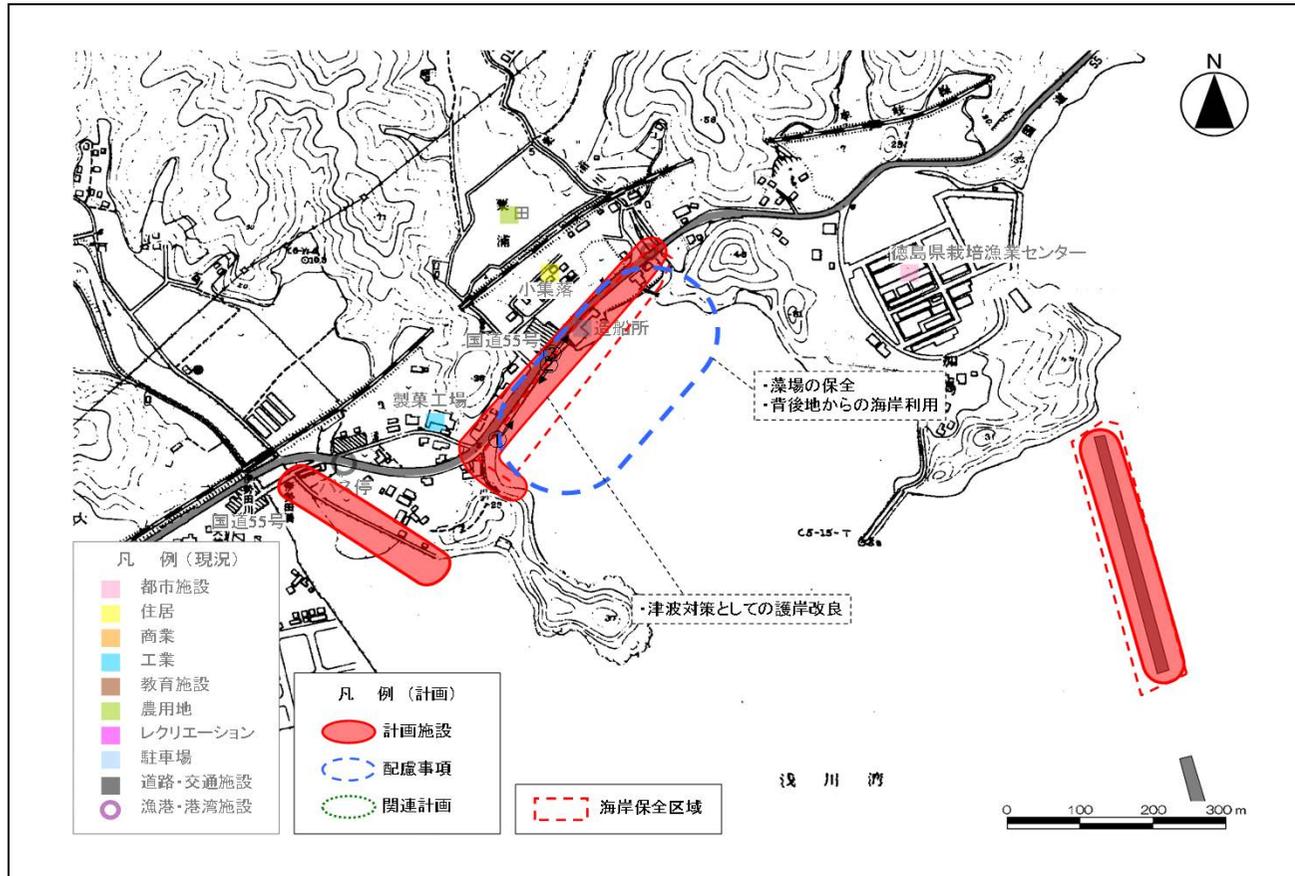
①海岸状況



②海岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。海岸環境や藻場の保全、親水空間の保全に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	生物の生息環境として重要な藻場の保全に努めるとともに、漂着ゴミの清掃など海岸美化の推進を図る。また、学術上重要とされる生物(7カ)の生息が確認されており、その生息環境の保全に努める。
利用面	水遊び等の可能な親水性のある海辺空間への配慮に努める。

防護項目	現況特性					
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	侵食対策ランク	-	
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防			
施設の健全度	風化・劣化が見られる。					
海岸保全区域の概況	前面には砂浜が広がっており、背後は国道55号線である。					
環境項目	現況特性					
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	砂浜・護岸			
自然関係法令	国定公園(海上:普通)、国定公園(陸上:第2種)					
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	-			
海域環境	藻場	●	干潟	-	サンゴ	-
配慮すべき資源	自然関係法令、貴重種(7カ:EN(魚類、移動あり))、藻場、多くの希少性ハゼ類が生息(県内有効の汽水域)					
利用項目	現況特性					
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	隣接			
アクセス道路	2車線					
海岸へのアプローチ	改善の必要性あり					
海岸利用状況	水遊び					
地域からの要請	-					

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として護岸の改良等、防波堤の整備を行う。		
受益規模	約10ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	藻場の保全、背後地からの海岸利用		

No.	海岸名	所管	市町村	保全延長	ゾーン名	海岸タイプ
68-5	海部灘 浅川港海岸	浅川地区 国土(港湾)	海陽町	1412	⑥海部灘ゾーン	環境調和

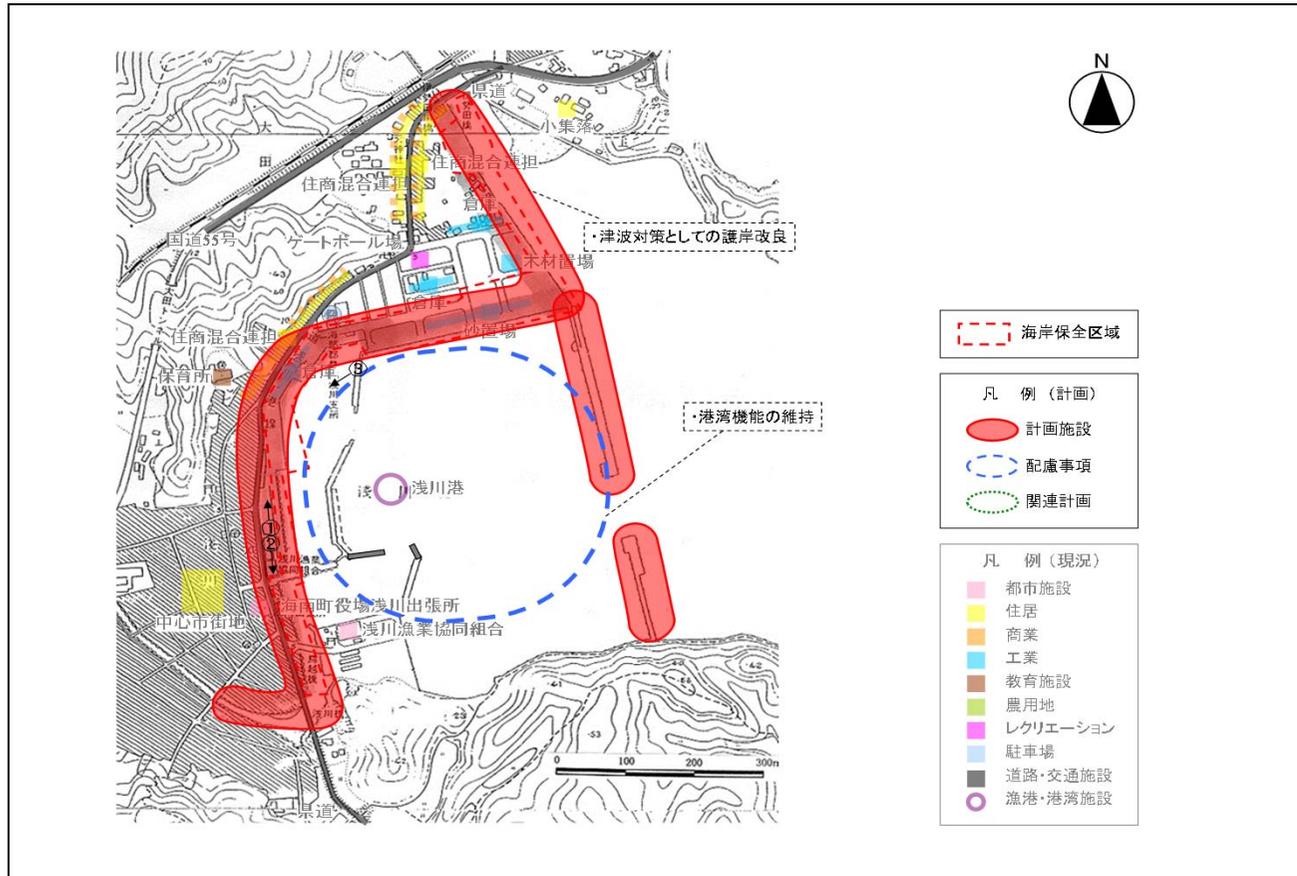
①護岸状況



②護岸状況



③護岸状況



海岸整備の方向性	
全体	防護面での対策が必要である。海岸環境の保全や漁港等の現状利用に配慮した施設整備を図る。
防護面	L1津波や高潮による浸水の危険性があり、対策を行う。
環境面	漂着ゴミ等の清掃など海岸美化の推進を図る。また、学術上重要とされる生物(7カ)の生息が確認されており、その生息環境の保全に努める。
利用面	漁港等の現状利用への配慮に努める。

防護項目	現況特性				
津波対策ランク	A	高潮対策ランク	B	優食対策ランク	-
背後地ランク	B	既存保全施設	護岸・堤防、消波工		
施設の健全度	風化・劣化が見られる。				
海岸保全区域の概況	浅川港内の防波護岸となっている。				
環境項目	現況特性				
環境配慮ランク	配慮	海岸の状況	ブロック・突堤・護岸		
自然関係法令	-				
水質環境基準(類型)	A	海岸漂着物対策重点区域	●		
海域環境	藻場	干潟	サンゴ	-	
配慮すべき資源	貴重種(7カ: EN(魚類、移動あり))、多くの希少性ハゼ類が生息(県内有効の汽水域)				
利用項目	現況特性				
利用配慮ランク	配慮	幹線道路からの距離	500m以内		
アクセス道路	1車線				
海岸へのアプローチ	困難				
海岸利用状況	港湾				
地域からの要請	観光・レクリエーション拠点の整備				

計画概要			
計画概要	津波・高潮対策として堤防の改良等、防波堤の補強を行う。		
受益規模	約30ha	導入事業	津波・高潮、高潮
配慮事項	港湾機能の維持		